

タイでも卒業校によって学閥があるようで、
上記の2つの大学では卒業後の待遇がかなり違いが出るそうです。
国立大学の地位が大変高く、私立大学の地位は低く見られます。

MBA 取得に燃えるタイ人も多く、起業をしようとするよりも
有名大企業に入り、ジョブチェンジしていくのが理想とされているところが多いようです。

大企業でも小さな企業でも転職率が大変高く、
同じ企業にずっといるよりも数多くの企業を回っている方が評価されたりします。

2：日系企業の位置づけは

80年代後半から円高を背景として多くの日系企業が進出を始め
2006年現在のバンコク日本商工会議所の企業数は1253社を上回る数まで
増加している。

在留邦人登録者ではおよそ3万人が登録していると言われていたが
未登録者を含めれば、5,6万人を超えると言われていた。

NY, LA, 香港、上海、ロンドンに次ぐ世界6位の数となっている。

駐在員数が多いためバンコクの日本人学校での生徒数は
上海に次いで世界2位の規模である。

日本からのタイへの直接投資は全体で40%占めており
第1位投資国になっている。
投資別の業種では電機、自動車部品、機械の順である。

2002年から日本政府はタイ国へ FTA/EPA（自由貿易協定）への構想を提案。
2005年8月には大枠で合意を得た。

正式な調印は今後であるが
これによりさらなる両国間での貿易、直接投資、人の移動が活発化されることが
予想されている。

□□ No 2 タイ株上級者編です ■■

過去のタイ株関連メルマガであまり触れられてなかったコーナーを作りました。

●● 004 ADVANC です。○○

携帯電話端末通信業最大手です。

プリペイド式では One-two-call のブランド名、
ポストペイド式（月ぎめで払う方式）では AIS のブランド名でタイ全国に展開している。
シン・コーポレーショングループ傘下。タクシン財閥から株式売却されたことで現在は
テマセクホールディングスが大株主となる。

TOT（タイ電話公社）側より25年間（1990～2015）の

BTO (Build-Transfer-Operate 建設—譲渡—運営)

経営方式でデジタルネットワーク回線を使っている。

日本で言う NTT ドコモに近い通信企業。通信機器契約数ならびに通信接続の質もトップのレベルである。

2006年1月、タクシン首相の一族からシンガポール国営投資企業のテマセク・ホールディングに売却された。

さて4回目は ADVANC です。

タイの人々は AIS、もしくは One-Two-call でよく知られております。

SET 内時価総額でもかなりの割合を占めます。

この企業はタクシン前首相の創業した企業の旗艦企業でもあり

タクシン=AIS と言っても過言ではないほど有名でした。(他にもたくさん事業を持っていますが)しかし

- 1: タイ国内でも携帯電話の保有率がかなり高まり、成長が今後鈍化するであろうという予測と
- 2: 3G 対応機器・設備等への設備投資から更なる資金が必要

なために外資系企業、シンガポールにあるテマセク・ホールディングへ売却することを決定したそうです。

タイの携帯電話市場は大手3社

AIS(ADVANC)、TAC (タイ SET には未上場・シンガポールでは上場)、TRUE MOVE

(TRUE) の競争になっており、その他小さな会社がわずかなシェアを競う状況になっております。

タイでも2005年に入ってから、加入者増加率は鈍化傾向にありまして、各携帯通信事業者間の競争は安さを売りにしたサービスで激化しています。

さらには第3世代通信(3G)に向けて、携帯通信市場の動向は大きく変わろうとしております。

さらに詳しい情報もありますが
専用のプレミアム会員からご覧頂ける様になりました。

2006年1月8日現在の株価は91パーツで終わりました。

テマセクホールディングスに売却される前の1月11日には112パーツをつけていましたがその後するすると下がって行きました。

その間には反タクシン運動による AIS 不買運動や、外資規制法に引っかかるのではという訴えなどもあり、プラスな材料がなかなか見えないまま今日に至っております。

2005年度の ADVANC の決算は、

2005年度の連結決算は、総売上高が前年比4.2%減の925億1700万パーツ、

(およそ2775億円)
純利益が同6.7%減の189億900万バーツ
(およそ567億円)に落ち込んだ。
プリペイド式の値下げ競争が減収減益につながったとみられます。

□□No3 タイ国内ニュース編です■

タイでは数ヶ月前から洪水のニュースが何回も流れております。
(日本ではこのニュースの大きさはどの程度なのでしょう。)

南部のイスラム問題よりも大きく、タイ国を大きく北から縦に流れるチャオプラヤー川の
水位がかなり高くなっていて、その近辺の県では数多くの住居が水に浸かる状況になっております。

さらには政府が決定したのには
バンコクに大量の洪水が来ないようにアユタヤ県などで大量の水量を放出し、
そこに住む近隣の住民・住宅を犠牲にして(水没させ)バンコクを助けるようにしているそうです。

そういうのもありなんですね。タイランド。

こちらではVIPが通る時も交通は完全に止めるし、
王様のお通りの際はもうなんであろうが道路は使えません。

一見平等そうに見えるタイランドですが
お金や就いている仕事、軍の関係者で大きく待遇が異なります。

今回の洪水対策も
バンコクに住む政治家、王族のためとうわさがあるのも納得です。

タイ北部の観光都市チェンマイでは
現在国際園芸博覧会『ラーチャブルック 2006』が開催されております。
なんでも2200種250万本以上の植物を展示する東南アジア最大規模の植物博覧会だそうです。

開会式は国王の代理としてシリントン王女が主催しスラユット現首相も出席しました。
初日の入場者は約3万人。来年の2007年1月31日まで開催されるそうです。
<http://www.royalfloraexpo.com/japan/index.asp>

こちら日本語での解説サイトです。すごいですね、きちんと日本語まで
用意されております。
こちらの国際博覧会も王様への深い愛情と敬慕の念を表すものだそうで、
プミポン国王への深い感謝の気持ちとして、タイ国民が一丸となって今回の博覧会の
成功へ努力しているんだそうです。

12月5日も国王様のお誕生日でタイランド全土が王様バンザイ！おめでとー！

で盛り上がります。

□□No 4 追伸です■ ■

さてこの欄ではそもそもわたくしABEがタイに来るきっかけになったことからお話ししたいと思います（埼玉編第2号です。）

小学校3，4年生では川口市で
5，6年生は上尾市と言う場所で過ごしました。
どちらも埼玉県ではそこそこ大きな街です。

何故か勉強はそこそこ出来たものの
（転校生は何故か勉強ができないといじめられる）、
反対にスポーツが苦手と言うなんか少しがり勉くんみたいな感じのコに成長していきました。

と言うのはその頃はとても身長が低く小学校の6年生まで
体育などで「前ならえ！」をすると横に手をあてる役だったのです。

いわゆる一番前のコトです。
本当にちっちゃい子でした。あの頃はどうかしたら背が伸びるのか真剣に悩んでました。
でも中学生で部活動を毎日するようになって
中学校・高校の5年間で25cm伸びました。（現在は173cm。）

虚弱なわが子を見て、心配した両親は地元にある野球少年団スポーツクラブに
入れることを決めて毎週日曜は朝早くからユニフォームを着てグラウンドで
少年野球をすることになりました。（父は大の野球好き）

しかし一番ヘタクソ。キャッチボールもままならない所からスタートし、
外野で球拾いがもっぱらでした。

小学校の後半から悪くなっていった視力のためボールが良く見えないってのも
ありました。（この悩みは大学の3年くらいまで続きます。）

あんまり下手なので試合ではスコアラーを任されるようになり（笑）

この小学生野球チームでの経験と中学の野球部への入部で
体力ついたし、そんなにいじめられることもなくなったので
良かったのだと思います。
そして野球はいまでも熱くなれるスポーツです。

だから下手くそな人が頑張ってるのとかの話、ドラマ、甲子園の地区予選、

